技能評価システム移転促進（SESPP）事業

事業実施報告書【カンボジア】

◆2018 年 1 月 16 日（火）～24 日（水）
◆カンボジア　プノンペン NPIC（National Polytechnic Institute of Cambodia）
◆配電盤・制御盤 3 級　技能評価者講習・技能評価トライアル

平成 30 年 1 月

1. 事業の全体概要

（実施期間）　平成 30 年〈2018 年〉1 月 16 日（火）～24 日（水）
①技能評価者講習（1/16～19）　②技能評価トライアル（1/22～24）
（実施場所）　カンボジア王国　NPIC（National Polytechnic Institute of Cambodia）
（職　種）　配電盤・制御盤 3 級　技能評価者講習・技能評価トライアル
（講　師）　萩生田　幸男氏
（受講者数）　①技能評価者講習 13 名
②技能評価トライアル受検者　6 名
（実施日程）

日時	活動名（指導内容）	
1 月 16 日（火） 8:30～16:00 【評価者講習】	・開講式 ・事務局より SESPP 事業の概要説明 ・３級実技試験問題解説 ・作業手順解説	（開講式挨拶） ・カンボジア労働省関係者 ・実技課題完成品 1 台の現物を見ながら解説
1 月 17 日（水） 8:30～16:00 【評価者講習】	・実技試験実施要項解説 ・実技採点基準解説	・カンボジア労働省関係者による視察、スピーチ、参加者への激励
1 月 18 日（木） 8:30～16:00 【評価者講習】	・実技採点要領の解説 ・評価者チェックシート解説 ・学科試験要領の説明 ・トライアルに向けアセッサーの役割分担決め	・評価者チェックシートの事例（停電、遅刻、怪我、等リスク管理を含めて）を取入れながら解説。 ・注意事項、回答方法、試験時間等の説明
1 月 19 日（金） 8:30～16:00 【評価者講習】	・採点方法研修 ・トライアル（学科試験・実技試験）の準備を評価者チェックシートを基に確認　受講者ら自ら具体的な役割を決定	・完成品を使って実際の評価手順と方法を実践し、確認
1 月 22 日（月） 8:30～16:00 【技能評価トライアル】	・アセッサーによる説明後、学科試験 ・採点作業 ・実技担当のアセッサーによる実技試験の準備	

1 月 23 日（火） 8:20～16:00 【技能評価トライアル】	・実技試験 ・カンボジア日系企業対象の SET 見学会 ・採点作業	・実技試験の準備状況について、適宜講師から指導。 ・日本商工会/試験会場関係者
1 月 24 日（水） 8:30～15:30 【技能評価トライアル】	・採点作業続き、採点表作成、まとめ ・反省会、質疑応答、参加者による討議 ・閉講式、証書授与	・採点はすべてダブルチェック ・厚労省、カンボジア労働省関係者

2. 総評

アセッサーについては、トライアルの実技試験用の材料や工具、教室の準備不足などが多々あり、参加者たちが自立して確実に検定をこなすまでにはまだ改善しなければならない点や課題が多くあると見えた。
また、今回の実技試験の結果から、参加者の技能力、製造能力（穴明け作業、組立作業、圧着作業、差し込み作業等）が、かなり不足している（訓練不足、指導不足、工具不足等もある）事が明確になった。配電盤・制御盤の研修レベルのアップグレードを目指すうえでは、今回明らかになった課題を改善していくことが欠かせない。一方、講義中は参加者から積極的に質問があり、質問に答えながら詳細を説明することで受講者の理解が深まったと感じた。また、昨年の経験者の参加もあり、採点作業はスムーズに進めることができた。
講習中、カンボジア労働職業訓練省 Laov Him 総局長、Sak 氏が視察のために会場を訪れ、さらに JICA のご協力の下、日系企業の専門化の方々（約10名）に、トライアルを視察して頂くことができたため、SESPP 事業のことを現地の関係者により広く周知することや、現地関係者の意見やコメントをもらう良い機会になった。閉講式では Laov Him 氏によるカンボジアでのテストセンター創設に意欲を燃やしている様子がうかがえ、今後の配電盤・制御盤においてはテストセンターを核として官民合同のプロジェクトを推進してゆく方針との意見を講じていた。

研修風景

採点研修の様子

SET 実技試験の様子

閉講式後、施設の外にて記念撮影